

## 2024年度日建連 BIM セミナーの開催について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。本会の事業等の推進につきましては、平素から格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、建築生産委員会 BIM 部会では、標記セミナーを下記のとおり開催いたします。多くの方に参加をしていただくために、日建連の会員企業に所属していなくても参加は可能となっています。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、別紙の開催要領をご覧の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### メインテーマ：設計施工における BIM の一貫活用に向けて/現状の課題と展望

- 日時： 2024年6月21日（金）13:00～17:00（Zoom入室開始12:45予定）  
開催方法： Zoom ウェビナーによるオンラインセミナー（事前参加申込制）  
主催： 日建連建築生産委員会 BIM 部会  
協力： 日建連建築本部建築 BIM 合同会議（設計企画部会・施工部会・設備部会・BIM 部会）  
開催要領： 別紙の「2024年度日建連 BIM セミナー開催要領」をご参照ください。  
定員： 3,000名（参加費無料）  
申込方法： 下記の申込ページに必要事項をご記入のうえ、お申込みください。参加申込みは、先着順とし、定員になり次第、申込受付を終了します。  
なお、別紙「セミナー参加方法および注意事項（簡易マニュアル）」も、あわせてお目通し願います。  
申込 URL： [https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_084LnQc\\_RQCiLcs4x0s81w](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_084LnQc_RQCiLcs4x0s81w)



←QRコードからもアクセス可能です。

- 注意事項：  
・お申し込みは、参加者各自で行ってください。  
・本セミナーへ参加するには、インターネットに接続されたパソコンやタブレット端末等が必要です。参加者各自でご用意ください。なお、参加者のインターネット環境の状況によっては、映像・音声がかかる場合があります。  
・ウェビナーの録画、録音はご遠慮ください。  
・開催日以降のオンデマンド配信の予定はありません。
- 備考：  
・講演資料は、セミナー開催2日前の6月19日午後、日建連 BIM 部会ウェブサイトにて公開予定です。  
(<https://www.nikkenren.com/kenchiku/bim/seminar/jfcc2024.html>)  
・各講演に対する質問を Q&A 機能で受け付けます。なお、質疑時間が限られておりますので、全ての質問を読み上げられない場合があります。

以上

#### 【本案内に関する問合せ先】

日建連 BIM 部会事務局（担当：正田）E-mail: [shoda@nikkenren.or.jp](mailto:shoda@nikkenren.or.jp)

※セミナー当日は、配信準備等のため、お問合せにご返答できない場合があります。

※インターネット設定、Zoom 使用方法等については、申込者様自身で事前にご確認ください。

個別のサポートには対応しかねますので、予めご了承願います。

## 別紙：2024年度 日建連 BIM セミナー 開催要領

### 1. 開催趣旨・内容

建設業界では、建設技能者の担い手不足への対応や働き方改革による週休2日の推進などを実現させるために、BIMを中心としたデジタルデータの活用が期待されています。特に、労働基準法改正による罰則付き時間外労働の上限規制がいよいよ2024年4月から建設業にも適用され、建築生産プロセス全体においてBIMデータを活用することで生産性向上を実践していく段階に至っています。一方、日建連会員企業においてはBIMの取組みが拡大・多様化しつつあり、試行段階の課題を解決して実務に定着させ、効果を楽しむ段階に来ていると言えます。

日建連では、BIMを中心とした業務スタイルの確立に向け、設計部門・施工部門それぞれの部会活動（BIM部会、設計企画部会、施工部会、設備部会）に加え、これら四部会による「建築BIM合同会議」を設置しています。

建築BIM合同会議では、「設計施工一貫方式におけるBIMのワークフロー」（以下、日建連BIMワークフロー）を提言しており、今年度は第3版と改訂しました。日建連BIMワークフローを実現させるには建築生産プロセスに関わる多くの方々がBIMへの共感を得ることが必要と考えています。

日建連建築生産委員会BIM部会では、「日建連BIMセミナー」を毎年定期開催しています。

第4回目となる今回は、建築BIM合同会議の協力のもと、設計と施工の連携を軸に、各部会メンバーによる討議を中心とした第1部とBIM部会の成果を紹介する第2部からなる2部構成としています。

第1部では、設計者と施工者がディスカッションを行いながらBIMの目指す姿の理解を深め、多様化が進むBIMの現状と今後の展望について考えていきます。

第2部では、鉄骨工事における『BIMモデル承認』の取組み、日建連HPにて公開中の『施工BIMの活用ガイド』の最新情報を紹介します。さらに、維持管理BIMに関するモデルのあり方について解説します。

本セミナーが、ご参加いただいた皆様において、BIM導入後に抱えている課題の解決やBIM推進施策に役立つものとなり、建設業界におけるBIMの更なる推進につながることを期待しています。

以上の趣旨についてご理解賜り、関係各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 2. プログラム

スケジュール	時間	プログラム	内容	発表者	司会
<b>はじめに (20分)</b>					
13:00 ~ 13:05	0:05	開会挨拶		曾根巨充 (BIM部会長)	三輪哲也 (BIM啓 発専門部 会主査)
13:05 ~ 13:20	0:15	主旨説明/主題解説	活動の位置づけ・ 成果と本セミナー の構成	曾根巨充 (前掲)	
<b>第1部   討議3題 (2時間45分)</b>					
13:20 ~ 14:05	0:45	【討議①】 BIMの現在地から将来の 方向性を提言する	BIM活用調査の結果からBIM時代の ワークフローの 考察	(パネリスト) 一居康夫 (設計BIM専門部会主査) 荒木真也 (施工部会委員) 小菅博史 (設備部会委員) 三輪哲也 (前掲)	三輪哲也 (前掲)
14:05 ~ 14:15	0:10	休憩			
14:15 ~ 15:00	0:45	【討議②】 設計者と施工者の立場 から設計BIMと施工BIMの 連携を再考する	立場の違いの相互 理解と目線合わせ	(パネリスト) 池田英美 (設計BIM専門部会委員) 荒木真也 (施工部会委員) 池田麻紀子 (設備情報化専門部会委員) 曾根巨充 (前掲)	曾根巨充 (前掲)
15:00 ~ 15:10	0:10	休憩			
15:10 ~ 15:55	0:45	【討議③】 設計者と施工者が設計 段階で協働するフロント ローディングを再考する	フロントローディ ングにより目指す 設計と生産のワー クフロー	(パネリスト) 佐藤 浩 (設計BIM専門部会委員) 荒木真也 (前掲) 小川敦史 (設備情報化専門部会委員) 吉田知洋 (BIM部会副部会長)	吉田知洋 (前掲)
15:55 ~ 16:05	0:10	休憩			
<b>第2部   報告3題 (35分)</b>					
16:05 ~ 16:20	0:15	【報告①】 BIMデータを承認すること の課題の解決策	考え方とケース スタディ (鉄骨工事)	垣内延介 (BIMデータ連携WGリーダー)	田中元明 (BIM啓 発専門部 会委員)
16:20 ~ 16:30	0:10	【報告②】 BIMデータを施工段階で 活用する課題の解決例	新たに作成した 活用レシピの事例 紹介	染谷俊介 (BIMデータ活用WGリーダー)	
16:30 ~ 16:40	0:10	【報告③】 竣工BIMと維持管理・運用 BIMの作成者に関する課題 の解決策	竣工BIMと維持管 理・運用BIM	曾根巨充 (前掲)	
<b>おわりに (20分)</b>					
16:40 ~ 16:55	0:15	質疑応答・まとめ		三輪哲也 (前掲)	田中元明 (前掲)
16:55 ~ 17:00	0:05	閉会挨拶		三輪哲也 (前掲)	

※各タイトル、時間配分は変更する場合があります。

以上